

NEDO特別講座(ロボット技術経営)
「NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開
(各地域・コミュニティによるロボットシステムの共創等)」

「地域・コミュニティを活用した ロボットシステム共創」について

千葉工業大学
未来ロボット技術研究センター
平井成興

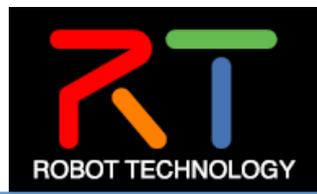
(提案している)事業目的

- さまざまなRTシーズを、地域・コミュニティで応用を目指す人材に知れ渡るようにする。
- 実社会のニーズの観点で、ロボットの非専門家であるユーザとロボット研究者・技術者・開発者を繋ぐ。
- 社会実装のネックとなっている問題を考える。
- 以上を取り入れた(RT新産業創出の)総合的なソリューションの定型化を試みる。

(提案している)事業内容

- 地域・コミュニティの特性にもとづくロボット産業創成戦略の研究
- 高齢者統合サービスの研究
- 地域共創RT技術経営セミナーの開催
- 社会実装ロボットコンテスト
- ロボペディアの整備
- 地域共創RT産業調査
- 地域共創RTシステムプロジェクトの企画立案

「地域を基盤」そして



- 地域資源を活用した事業（地域資源とは、農林水産資源、伝統産業、**人的資源**、伝統文化・祭り、歴史的建築物、自然、町並みなど当該地域に存在し事業化に活用できるものをいう）。
- 地域ネットワークを活用した事業（**企業、大学、自治体、公的施設、NPO**などと連携を組むことによって新たな産業を生み出す、または既存産業を活性化させる取組みをいう）。
- 地域の問題や課題の解決を図るための事業（いわゆるコミュニティ・ビジネスといわれる事業であり、**福祉、子育て、生きがいつくり、教育、安全**など住み良い地域づくりをめざす事業をいう）。
- 地域内の循環を目指す事業（環境問題に配慮して、地元で生産したものを地元で消費するとか、地元で発生した廃棄物を地域内でリサイクルするなどの取組みをいう）。
- 以上の事業を展開する事業体を支援するための事業（金融、インキュベーション機関、交流促進など）。

「コミュニティ」とは

- (地域で)生活や文化活動を共有する集団
- 相互扶助的関係
- 人間関係の密度が高い
- ライフスタイルや価値観に類似性
- 縦割りでない、職業的でない関係
- 情報の共有、流通性
- 生活ニーズの共有
- 相互連携、信頼性

「共創」の意味

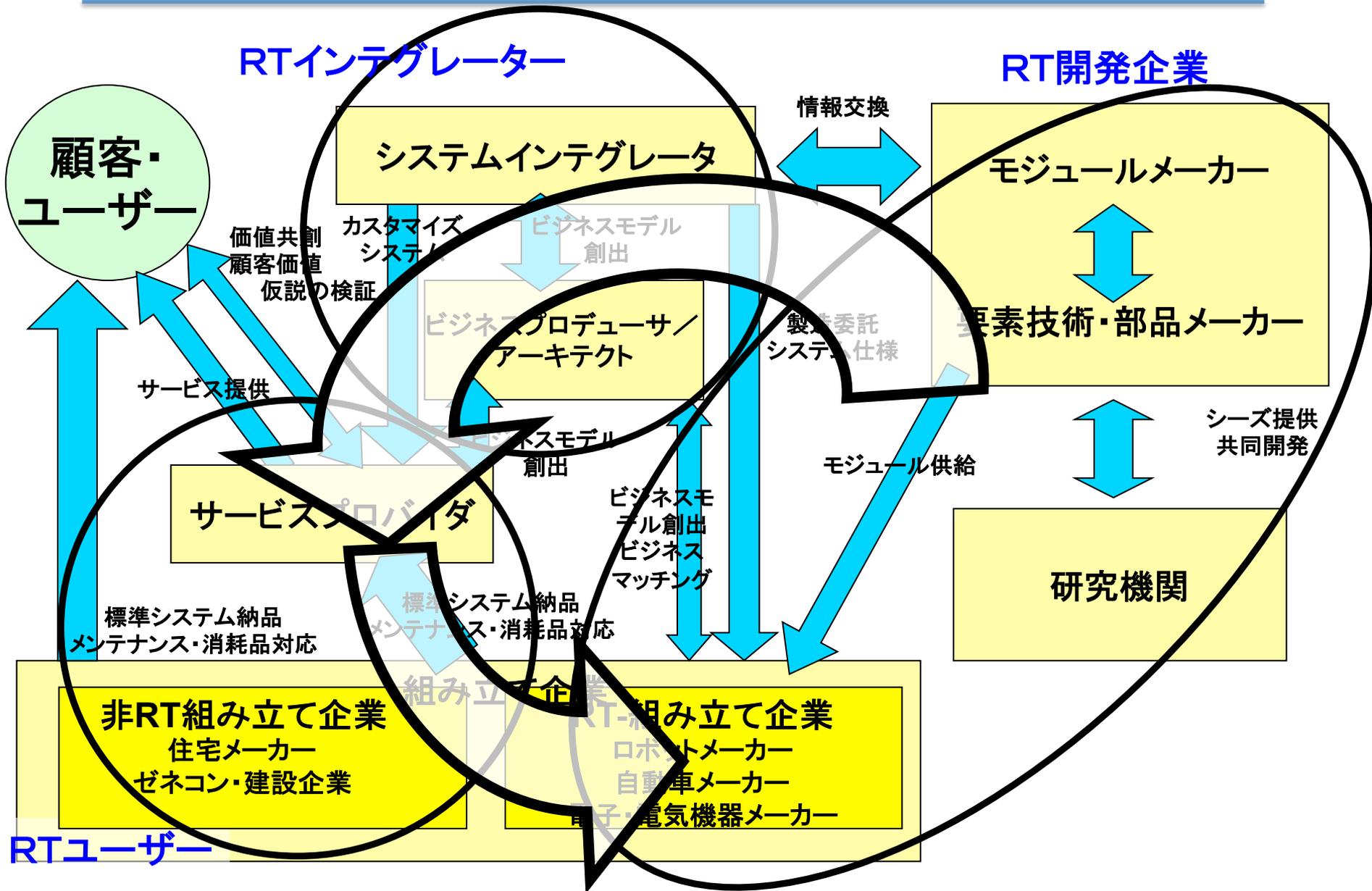
- 企業企画型
- リードユーザー主導型
- 共創型

「製品」を購入してそのまま使うのではなく、製品企画から使用段階を通じ、メーカーとユーザーとが共に工夫、(製品価値を)創造していく。サービス産業で特に注目されている。

RTシステムと共創

- RTは発展途上の技術
- ニーズ開発が重要
- 最初から大規模市場は無理
- コミュニティの問題解決向き
- ソリューションの共創を期待
- 関係者の連携がポイント

RTシステムを組み込んだ事業化における事業者間構造 (石黒 周 氏によるモデル)



地域・コミュニティ活動調査

- 活動のねらい、目標:
- 提供されるサービス内容:
- リーダー(RTSP):
- 経緯: 設立、主な活動の履歴、実績等
- 構成員: ロボットメーカー、ロボットシステム開発者、サービスプロバイダ、ユーザ、コーディネータ等、関係者の役割、相互関係

まとめ

- RT活用「新製品」の創出、地域への期待
- 人、生活、コミュニティの活用と貢献
- ライフスタイルに合わせたものづくりが必要
- 多様な専門、業種、人材の交流が重要
- 多様な研究者・技術者OBリソースが存在
- 同一目的、目標に向けた協調、協力も重要
- 既成概念の打破、チャレンジ精神を期待

本日のプログラム

- 次世代ロボットの法的課題について
花水木法律事務所 小林 正啓 様
- 「さがみロボット産業特区」の取組について
神奈川県 産業労働局産業・エネルギー部
矢島 裕久 様
- 「つくばロボット特区」の取組と今後の方向等について
つくば市 科学技術振興課 大久保 剛史 様
- あいち次世代ロボット産業振興の取組について
愛知県 産業労働部産業振興課 阿知波智司 様
- 「神戸RT構想」の取り組みについて
神戸市産業振興局経済部工業課 高原 昇 様
- まとめ(討論) 東京大学 佐藤 知正 特任教授